

NEC 働き方見える化サービス Plus 導入事例

国分グループ本社株式会社 様

管理ではなく、主体的な姿勢を重視
可視化と情報共有で働き方の改革を促す

国分グループ本社株式会社
取締役執行役員
経営統括本部
副本部長
兼 人事総務部長
小木曾 泰治 氏



国分グループ本社株式会社
人事総務部
人事企画課長
野間 幹子 氏



国分グループ本社株式会社
人事総務部
人事企画課
副課長
中山 有 氏



社 名：国分グループ本社株式会社
所 在 地：東京都中央区日本橋1-1-1
設 立：1947年11月21日（創業 1712年）
資 本 金：35億円
売 上 高：1兆8857億6700万円（連結：2018年12月期）
従 業 員 数：5,257名（連結：2018年12月31日現在）
概 要：約10,000のメーカーから60万種類もの商品
を仕入れ、35,000社の小売・外食産業
などに販売するなど、食の流通を担う事業
を展開。「継続する心・革新する力ー私たち
は、食を通じてこころ豊かなくらしをお届け
しますー」の企業理念のもと、「食のマーケ
ティングカンパニー」として、顧客の事業や
消費者の食生活に貢献している。

U R L: <https://www.kokubu.co.jp/>



事例のポイント

課題背景

- ・ 社員の主体性に基づく働き方改革を推進したい
- ・ 社員同士が働き方に関する情報を共有し、互いに助け合うような一体感を醸成したい
- ・ 勤務実態を可視化し、コンプライアンス意識を高める

成 果

- ・ **社員がより良い働き方を考えるための環境を整備**
業務の内容や勤務実態を可視化して、その情報を基に個人、およびチームで働き方を見直し、改善していくための環境が整った
- ・ **チームの一体感の醸成に貢献**
上位の管理職が部門のメンバーの働き方や個性をより詳しく把握し、マネジメントに役立てたり、時間外勤務が膨らんでいるメンバーがいれば、ほかのメンバーがサポートを申し出るなど、一体感の醸成につながっている
- ・ **社員同士のコミュニケーションが活性化**
公開されているチームメンバーのひとことコメントを自分の働き方改善の参考にできるほか、写真や自由コメント欄を通じて、社員同士が相互に関心を持ち合うようになるなど、社員同士のコミュニケーションのきっかけを提供している

導入ソリューション

●国分グループ本社様の「ワクアド® (Workstyle Adviser)」の画面イメージ



勤務実態の可視化

▼ダッシュボード



システム連携している勤怠管理システムの情報と社員が利用するPCの操作ログを基に各人の勤務実態を可視化。

管理が目的ではなく、働き方の改善に生かしてほしいという思いを具現化したわかりやすいダッシュボードが、現場へのスムーズな定着につながっている

※画面はイメージで、同社様の実画面ではありません。
また、氏名や顔写真につきましては、架空の人物になります。

導入前の背景や課題

社員の主体性に基づく 働き方改革の推進を目指す

1712年に江戸・日本橋で「大国屋」として開業し、創業300余年の歴史を持つ国分グループ本社様。酒類・食品の卸売業を中心に「食」を扱うすべての事業者のニーズに応え続ける「食のマーケティングカンパニー」として、新たな市場・ビジネスの創造に

チャレンジしています。この創造的なビジネスをより強力に推進するために、現在、同社は様々な改革を行っています。例えば、グループの一体感を高めるために、グループ会社を再編して、新しい人事制度を導入。同時に効率的で生産性が高い組織、社員一人ひとりが心身ともに健康的に働ける環境の実現を目指して働き方の改革にも取り組んでいます。

「働き方を改革するに当たり、私たちが特に意識したのが管理の強化が目的ではないということ。もちろん、働き方改革関連法への対応や新しい人事制度の徹底も重要な課題ではありますが、それ以上に、社員一人ひとり、そして管理職たちがしっかりと改革の意義を理解し、自発的に自身やチームの働き方を改善していくようなマインドを醸成したいと考えました」と同社の小木曾泰治氏は言います。

選択のポイント

可視化と共有で 主体的に改善を促す点を評価

改革に向けた「マインド」を醸成するために、同社は、人事・労務制度や規則などの「ルール」、オフィスやテレワーク環境の整備といった「プレイス」、そして、改革を支えるシステムの「ツール」という、3つの側面からのアプローチが必要と考えました。「特にツールについては、出退勤の時間を記録する勤怠管理システムが中心だった従来の仕組みでは不十分と考えました。例えば、システム上は退勤したことになっていても残って仕事をしている、いわゆる『サービス残業』があっても可視化できず、法令対応の徹底

が困難。加えて、まさに管理を目的とした仕組みで、主体的な改革意識の醸成につながるものではなかったからです」と同社の野間幹子氏は明かします。そこで、同社は新たに可視化ツールの導入を決定。複数のソリューションを比較し、ベンダーの提案を受けるなどしながら検討を重ね、最終的にNECの提案を採用しました。「NECのソリューションは、個人とチームのパフォーマンスを最大化することを目的としていました。それが選定の理由です」と野間氏は続けます。具体的に、NECの提案したソリューションは、勤怠管理システムに反映されない時間外労働をPCの操作ログを活用することで正確な実労働時間として

把握、時間外労働が規制上限を超えそうな場合にはアラートを上げるなど、法令対応に役立てられるだけでなく、個人が担っているタスクの状況、時間外労働の実績と予測、休暇取得状況といった勤務状況のサマリーをダッシュボードにわかりやすく表示し、チームで共有。全社的に働き方を見直し、改善するきっかけを提供することを目的としています。「ダッシュボードなど、使い勝手も非常にユーザーフレンドリー。その点も、社員の自発的かつ積極的な活用が期待できるツールだと感じました」と同社の中山有氏は語ります。

導入後の成果

コラボレーションの活性化など 新たな組織風土醸成につながる

同社は、新たに導入したツールを「ワークアド◎ (Workstyle Adviser)」と命名。本社だけでなく、グループ企業10社にも一斉に導入し、今後、他のグループ会社にも導入していく予定です。「働き方の可視化と共有がワークアドの基本機能ですが、情報の公開範囲は目的に応じて設定を変えています。例えば、PCの各アプリケーションの操作時間一覧を見れば、メールの確認・返信や資料作成などの業務にどれくらいの時間がかかっているかを把握できますが、これらは個人の改善に役立ててほしいという思いから、公開範囲を個人に限定しています。一方、時間外労働を含む勤務状況については、担当業務やリソースの割り当てを見直すなどの管理職の

マネジメントやアドバイス、社員同士のサポートに役立ててほしいという思いから同じ部署内のメンバーに公開しています」と小木曾氏は活用方法を説明します。実際、管理職からは「社員一人ひとりの働き方や個性をより多面的な視点で把握できるようになった」という声があがっているほか、現場でもワークアド◎のデータを見ながら、多忙なメンバーのサポートを申し出るなど、新たなマインド醸成の兆しが見え始めています。加えて、ダッシュボードには、勤務状況のサマリーだけでなく、顔写真や自由に使えるコメント欄があり、これらが社内コミュニケーションの活性化につながっているといえます。「現在の仕事内容、あるいは仕事上で困っていること、『午後から外出します』といった報告だけでなく、趣味や家族のプライベートに関するコメントを記入する社員も多く、それがコミュニケーションに一役

買っているようです。期待通りの効果でグループの一体感につながっています」と中山氏は話します。導入時は、全国の拠点で、合計800名の管理職を対象に説明会を開催、現場の社員にはeラーニングを実施するなど、ツール導入の意図を丁寧に伝えながらスムーズな浸透を図りました。「もちろん、より深く定着させ、効果を高めていくのはこれからの課題ですが、第一段階としては成功だと捉えています。」と小木曾氏。また、野間氏は「様々な課題に直面しましたが、NECが、そのたびに課題を明確にし、NECグループでの工夫を紹介するなどサポートしてくれました」と導入時のNECの対応を評価します。強制するのではなく、主体的なマインドをベースにした真の働き方改革で、さらなる成長を目指す国分グループ本社様の取り組みは、大きな注目を集めそうです。

お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォームソリューション事業部

働き方見える化サービス Plus 情報サイト

URL: <https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/hatarakikata/>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
 ●本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インク
を使用しています。